

<福島県教育長賞>

税金の使い道

南相馬市立原町第三中学校 3年 三瓶 一香

税金とは常に私たちの身近なところにあります。特に消費税などは商品を買えば誰しもが払っています。

よく、私は父と塾の帰りにコンビニエンスストアに行くことがあります。そこで父はたばこを買います。「今はたばこも高いな」と言っているのを聞いて、「そういえばたばこって増税したんだ」と、父とたばこについて話していました。その話をしていた中で、「たばこにかかっている税金は何に使われているのか」という疑問が生まれたので、調べてみることにしました。

たばこには、国たばこ税、地方たばこ税、たばこ特別税、消費税という4種類の税金が含まれています。日本たばこ産業株式会社の資料によると、ビールが45%、ウイスキーが28.6%、ガソリンが50.7%、そして、たばこが61.7%という、お酒やガソリンと比較しても、飛び抜けて重い負担率です。たばこ税の税収は、年間1兆円で、国税と地方税の合計で2兆円です。たばこは国と地方の貴重な財源となっているのです。

たばこで出た税金は、他の税金との使われ方とあまり変わらず、小中学校や図書館などの教育施設や教科書などのお金、高齢者や障がい者のための福祉施設やサービスなど、さまざまなことに使われています。たばこの価格が高くなるにつれ、どうしてこんなにも税が増えていくのかという意見が見られます。しかし、戦争やコロナによる経済の悪化により、食品や日用品などにも増税されたり、新たな税が検討されたりしています。たばこもその一つなのだと思います。

税をなくしてしまうと、先ほど述べた教育や福祉に関する施設やサービスを受けられなくなる他、道路や公共施設の建設などの工事ができなくなってしまいます。そうになると、平等に教育がいき渡らなくなり、私たちが住んでいる町の治安が悪くなって

しまいます。税金を払うことは、社会をより良くする手段です。他にもどのような税があるのかを自ら調べてみると、税の見方や考え方が変わっていくと思います。家族と一緒に税について調べ、実際に商品を買うなどして、もっと身近に感じて、国民の一人として社会に積極的に貢献していきませんか？